

# 知っところ!!!

秋冬号 No.135/2023/ Autumn-Winter

## 森林組合つうしん

森だより  
(135)



写真：雪害による人家裏の倒木被害  
1 頁に関連記事

も	事業1課	総務課
	里山再生整備事業について・・・P1	職員研修を実施・・・P4
く	事業2課	市況・編集者の独り言・・・P5
	新型機械導入 他・・・P2	
じ	店舗（森の道具屋）	
	目立て講習会の開催 他・・・P3	

発行責任 日吉町森林組合

〒629-0341 京都府南丹市日吉町殿田尾崎8-1

E-mail h-sinrin@fancy.ocn.ne.jp

Tel 0771-72-0017

Fax 0771-72-1375

森林組合WEBサイト

日吉町森林組合



## 南丹市里山再生整備事業について

南丹市より各区長様宛に「南丹市里山再生整備事業の事業実施要望について」という文書が発送されております。既に区の常会や回覧等で事業内容が説明されていると思いますが、この森林だよりにおいても皆様に事業説明させていただきます。

木材価格の低迷や森林所有者の高齢化、不在村所有者の増加などで山林に人の手が入らなくなり、放置されている山林がどんどん増えています。特に人家に近い里山林が放置されることにより、広葉樹や針葉樹の樹高（背）が高くなった結果、台風や降雪などで折れたり倒れたりして人家に当たるといった被害も増えてきました。そこで南丹市では、今後さらに増えると予想される人家への被害を少しでも減らそうと、この事業に取り組んでおられます。

皆様の所有山林で「あその山は、〇〇さん家のすぐ裏で心配」、「あその山は大丈夫かな」と心配されるところがあれば、区長様にご連絡いただき相談をいただければと思います。

この事業も限られた予算の中での対応で、かつ南丹市全域の山林を範囲として要望照会をされていますので、要望したからといって来年度に実施できるかどうかは確定ではありませんが、まずは要望をしていただかないと始まりません。この機会に一度考えてみていただければと思います。

**各地域の事業要望箇所については、地域の区長様に  
報告をしていただきますようお願いいたします。**



(写真左：今年の降雪による倒木被害)



(写真右：人家裏に隣接する里山の一体整備の例)

## 事業 2 課

### F801 フォワーダを導入 !!

森林整備事業で山から木材土場まで材を搬出するフォワーダ。そのフォワーダを新規導入しました。これまでからも同じ機種を 2 台導入し、木材搬出作業を行っていましたが、1 台は導入後 13 年、2 台目は導入後 11 年が経過しています。

2 台とも活躍していますが、故障の頻度も多く修理費用も年々増加傾向にあります。また、故障の度に木材搬出が止まる悪循環にも陥ってしまいました。森林組合は今後さらに木材生産を増加させていく計画をしています。その目標を達成するためにも新しいフォワーダを導入し、2 台をフル稼働させ 1 台を補完的に稼働させることで、木材生産の増加を図っていく予定です。



### 京都府立林業大学校生のキャップストーン研修受入れ ～学生 1 名が 1 ヶ月間の就業体験～



林業大学校 2 年生の神谷君（左写真）は、1 年生時のインターンシップでも日吉町森林組合を選んで研修に来ていました。インターンシップでは 1 週間と短い期間でしたが、今回のキャップストーン研修では 1 ヶ月間と長く、現場作業とプランナーの仕事を半分ずつ経験したいとの希望がありました。

10 月 2 日から 13 日までの前半はチェーンソーマンとして現場作業に従事し、16 日から 31 日までの後半はプランナーとして森林調査や作業道開設支障木のテープ付け、間伐木の選木などに従事してもらいました。

「林大を卒業後は、チェーンソーマンとして林業で頑張っていきます」と嬉しい感想を言ってもらいました。林大卒業後が楽しみです(\*^-^\*)

# 森の道具屋

## 目立て講習会開催決定！(12/16(土))

今年もやります『目立て講習会!!』。昨年も参加された方々から大変好評だった目立て講習会、今年も開催希望の声を多くの方々からいただきましたので、12月16日(土)に森林組合事務所3階大ホール(前回と同会場)にて開催させていただきます！

当日は森林組合のベテランチェーンソーマンが、目立ての基本にこれまで自ら培った経験を上乗せし、切れる目立てを皆様に解り易く丁寧に説明いたします。

皆様のご参加心よりお待ちしております。



御希望の方は、森林組合事務所へお電話いただき「目立て講習会に参加希望です」とお伝えください。電話：0771-72-0017



## シイタケ原木の予約賜ります！



ご家庭でシイタケ栽培してみませんか。スーパーでも「原木しいたけ」となれば、菌床栽培のシイタケよりも値段が格段に高くなります。また、市販のシイタケより肉厚ジューシーで、バーベキューやお鍋に最高の具材となります。ちなみに、私はフライパンに傘を下にして乗せて焼き、ヒダから水泡が出てきたらそこにバターを乗せる。バターが溶けきるところで醤油を垂らして完成!!最高のご飯のお供です(\*^-^\*)

さあ、皆さんもご自宅で原木シイタケを育てて、最高の一品を作りませんか！ご予約お待ちしております。



(写真左：組合事務所裏に置いていた原木)

## 秋のお客様感謝祭のご案内 🍁🍂🌿🍁🍂🌿🍁🍂🌿

来る、11月18日(土)・19日(日)の2日間、秋のお客様感謝祭を開催いたします。定番の林業用機械や小型農業機械、薪ストーブ用品や薪割り用品など多数取り揃えて、皆様のご来店お待ちしております。 🍁🍂🌿🍁🍂🌿🍁🍂🌿

# 総務課

## 職員研修を実施しました！

去る、8月24日(木)に南丹市園部町船岡にある、坂矢木材株式会社様の製材工場を視察見学させていただきました。

森林組合が「日吉の森復活作戦」を開始して26年が経過し、施業内容も木の成長に合わせて伐捨間伐や枝打ち作業から、木材生産を行う搬出間伐へと移行してきました。現在では、森林整備のほとんどが搬出間伐となり、年間の木材生産量も1,000～2,000 m<sup>3</sup>から14,000～15,000 m<sup>3</sup>へと増やしてきました。

木材生産を伴う間伐施業では、林業機械を導入し作業効率を常に見直し、木材生産コストを削減することで、皆様への返却金を可能なかぎり増やしてきました。引き続き皆様への返却金を増やす努力は続けて参りますが、間伐施業現場で行うコスト削減だけではなく、市場のニーズをきちっと捉えることによる生産木材の販売価格の引き上げも欠かすことができません。

そこで、坂矢木材株式会社様へ日吉町の材を納め、その製材過程を見学させていただき、製材された材の良し悪しを直接ご指導いただきました。職員からは「この材でもこの挽き方やと問題ないんや」、「この質でも問題なく引き取ってくれるんや」などの感想が出ており、今まで山土場での選別時に「この材はアカンな」と撥ねていた材の中に、使える木があったことが分かりました。

今回の研修は、皆様に木材売上額を少しでも多く返却できるようになる、実りある研修となりました。



## 木材市況

(資料提供・北桑木材センター R5.10.26)

スギ	中目	4m×18～24 cm	¥9,500～13,000	スギ材は目細の手入れ材は高値  ヒノキの良材については高値
	〃	4m×24～30 cm	¥14,000～18,000	
	柱	3m×16～20 cm	¥13,000～15,000	
	〃	6m×16～20 cm	¥15,000～18,000	
	元木・良材	4m×24 cm上	¥70,000～80,000	
ヒノキ	中目	4m×18～24 cm	¥16,000～20,000	
	〃	4m×24～30 cm	¥24,000～26,000	
	柱	3m×16～20 cm	¥13,000～15,000	
	〃	6m×16～20 cm	¥22,000～24,000	
	土台	4m×14～16 cm	¥10,000～12,000	

編

集

者

の

独

り

言

今年クマによる人的被害が、環境省が統計を取り始めて以降、最も多かった3年前・2020年度の158人/年を抜いて過去最悪の被害になっているようです。皆様もテレビや新聞、インターネットなどのニュースでご覧になられていることと思います。

例年は、山菜取りや紅葉シーズンの登山などで被害に遭われるケールが多かったようですが、今年は市街地などの人里での被害が多いということがよくニュースなどでも話題となっています。

あるニュース番組では、近年は人里近い里山で生まれたクマの頭数が増加し、活動範囲の中に人里があるため人との遭遇が増えていると伝えていました。

以前観た番組では、里山と人が生活する境目にバッファゾーン（動物が隠れる事が出来ない開けた場所）を設けることで、里山から出て来たクマが切り開かれたバッファゾーンを警戒して、それ以上人里には出て来ないという実証実験をされてました。

以前、組合長と車で町内を走っていると、組合長が「山が近くなったなあ」と言っていたのを思い出しました。倒木などの心配だけではなく、こういったクマの出没や遭遇の心配も減らすためにも、是非南丹市の里山再生整備事業を活用していただければと思います。そして、人と野生動物が上手く共生できる里山環境を作る手助けが、森林組合でも出来ればと思います。

編集者：小林